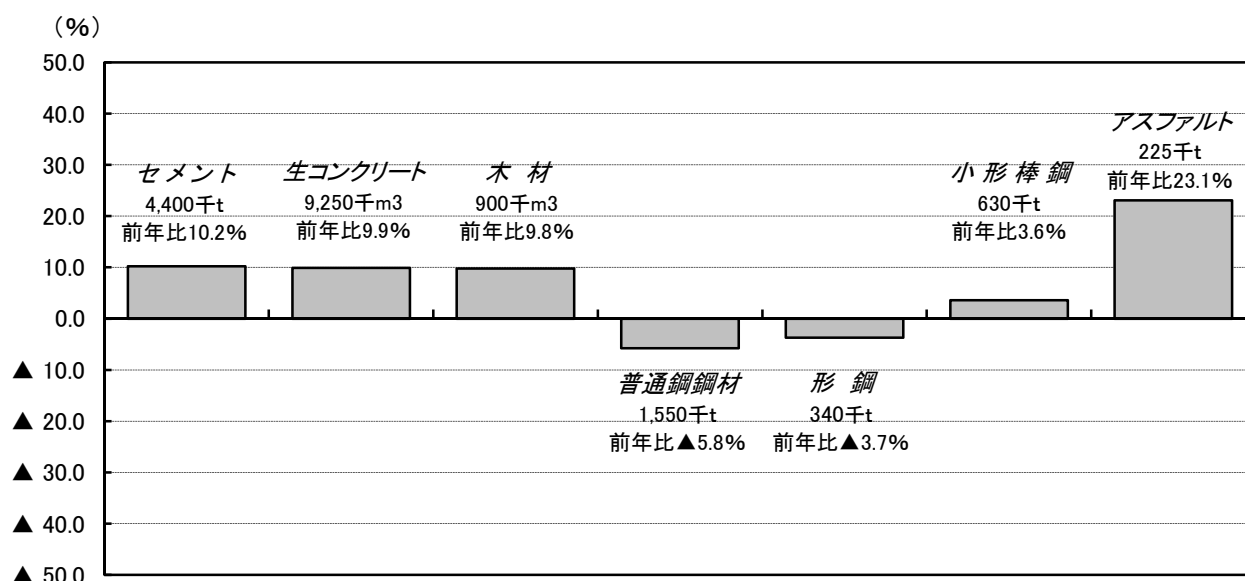


## 主要建設資材月別需要予測 ＜平成23年12月分＞

### 1. 平成23年12月の主要建設資材の予測需要量



#### 【セメント、生コンクリート】

セメントの需要量は4,400千t（前年同月比10.2%のプラス）、生コンクリートの需要量は9,250千m3（前年同月比9.9%のプラス）と予測される。

#### 【木材】

木材の需要量は900千m3（前年同月比9.8%のプラス）と予測される。

#### 【普通鋼鋼材、形鋼、小形棒鋼】

普通鋼鋼材の需要量は、1,550千t（前年同月比▲5.8%）、形鋼の需要量は、340千t（前年同月比▲3.7%）、小形棒鋼の需要量は、630千t（前年同月比3.6%のプラス）と予測される。

#### 【アスファルト】

アスファルトの需要量は、225千t（前年同月比23.1%のプラス）と予測される。

## 2. 本予測の目的

建設資材（以下「資材」という。）の需給を安定化し、もって建設活動の円滑な実施を図ることを目的として、平成23年12月分の主要資材の需要予測を行うものである。

## 3. 対象資材等

セメント、生コンクリート、木材、普通鋼鋼材、形鋼、小形棒鋼及びストレートアスファルトの5資材7品目の国内における需要量の見通しである。

### <セメント>

国内メーカーの国内販売量に海外メーカーからの輸入量を加えた内需量を対象としている。

「内需量」 = 「国内販売量」 + 「輸入量」

なお数値は、（社）セメント協会「月別セメント販売実績」の値を用いて予測している。

### <生コンクリート>

全国生コンクリート工業組合連合会組合員工場の出荷量とその他工場の推定出荷量とを加えた出荷量を対象としている。

「出荷量」 = 「組合員工場出荷量」 + 「その他工場推定出荷量」

なお数値は、全国生コンクリート工業組合連合会・協同組合連合会「全国生コンクリート出荷実績（月次）」の値を用いて予測している。

### <木材>

国内メーカーの製材品出荷量を対象としており、建設向け以外の量を含んでいる。また、製材用素材として外材を含んでいる。

なお数値は、農林水産省「製材統計」の値を用いて予測している。

### <普通鋼鋼材及び形鋼>

国内メーカーの国内建設向け受注量を対象としている。

なお数値は、（一社）日本鉄鋼連盟「鉄鋼統計月報」の値（国内向け受注総量から国内建設向け受注量を推計したもの）を用いて予測している。

### <小形棒鋼>

国内メーカー及び国内主要販売業者からの国内建設向け出荷量を対象としている。ただし、海外メーカーからの輸入量は含まれていない。

なお数値は、（一社）日本鉄鋼連盟「鉄鋼統計月報」の値を用いて予測している。

### <アスファルト>

国内メーカーの建設向け内需量（燃焼用及び工業用分を除いている）と海外メーカーからの建設向け輸入量を加えた建設向け等内需量を対象としている。

なお数値は、石油連盟「石油アスファルト統計月報」の値を用いて予測している。

<b>国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課</b>	
課長補佐 伊藤 (内線24-863)	電話番号 03-5253-8111 (代表)
資材係長 田崎 (内線24-864)	03-5253-8283 (夜間直通)
インターネットアドレス	<a href="http://www.mlit.go.jp/statistics/details/kgyo_list.html">http://www.mlit.go.jp/statistics/details/kgyo_list.html</a>

主要建設資材月別需要予測 予測需要量及び実績の一覧表 <平成23年12月分>

資材名称	予測対象 (単位)	項 目	平成22年度												平成23年度												
			第2四半期				第3四半期				第4四半期				第1四半期				第2四半期				第3四半期				
			7月	8月	9月	四半期計	10月	11月	12月	四半期計	1月	2月	3月	四半期計	4月	5月	6月	四半期計	7月	8月	9月	四半期計	10月	11月	12月	四半期計	
セメント	内需量 (千t)	実績(予測)	3,471	3,174	3,575	10,221	3,819	4,056	3,994	11,870	3,079	3,456	3,390	9,925	3,246	2,912	3,513	9,671	3,514	3,389	(3,600)	10,504	(4,100)	(4,300)	(4,400)	12,800	
		前年実績値	3,722	3,225	3,682	10,628	3,924	3,724	3,995	11,644	3,086	3,405	3,580	10,071	3,183	2,991	3,425	9,599	3,471	3,174	3,575	10,221	3,819	4,056	3,994	11,870	
		伸び率(%)	▲ 6.7	▲ 1.6	▲ 2.9	▲ 3.8	▲ 2.7	8.9	0.0	1.9	▲ 0.2	1.5	▲ 5.3	▲ 1.5	2.0	▲ 2.6	2.6	0.8	1.2	6.8	0.7	2.8	7.3	6.0	10.2	7.8	
生コンクリート	出荷量 (千m3)	実績(予測)	7,001	6,538	7,328	20,868	7,873	8,395	8,420	24,689	6,211	7,159	6,963	20,333	6,729	5,921	7,195	19,844	7,312	7,159	(7,500)	21,971	(8,250)	(8,750)	(9,250)	26,250	
		前年実績値	7,404	6,567	7,429	21,400	7,897	7,450	8,191	23,538	6,138	6,883	7,197	20,219	6,438	6,021	6,929	19,388	7,001	6,538	7,328	20,868	7,873	8,395	8,420	24,689	
		伸び率(%)	▲ 5.4	▲ 0.4	▲ 1.4	▲ 2.5	▲ 0.3	12.7	2.8	4.9	1.2	4.0	▲ 3.3	0.6	4.5	▲ 1.7	3.8	2.4	4.4	9.5	2.3	5.3	4.8	4.2	9.9	6.3	
木 材	製材品 出荷量 (千m3)	実績(予測)	815	789	841	2,445	858	876	820	2,554	703	685	746	2,134	756	717	747	2,220	795	760	(925)	2,480	(1,000)	(975)	(900)	2,875	
		前年実績値	817	752	801	2,370	824	788	773	2,385	687	694 (645)	770 (710)	2,151	804 (745)	746 (688)	815 (753)	2,365 (2,186)	815	789	841	2,445	858	876	820	2,554	
		伸び率(%)	▲ 0.2	4.9	5.0	3.2	4.1	11.2	6.1	7.1	2.3	6.2	5.1	▲ 0.8	1.5	4.2	▲ 0.8	1.6	▲ 2.5	▲ 3.7	10.0	1.4	16.6	11.3	9.8	12.6	
普通鋼鋼材	建設向け 受注量 (千t)	実績(予測)	1,390	1,363	1,501	4,254	1,447	1,626	1,646	4,719	1,616	1,606	1,734	4,956	1,681	1,540	1,464	4,685	1,432	1,469	(1,550)	4,451	(1,600)	(1,650)	(1,550)	4,800	
		前年実績値	1,516	1,503	1,566	4,585	1,462	1,331	1,347	4,140	1,392	1,491	1,744	4,627	1,578	1,506	1,460	4,544	1,390	1,363	1,501	4,254	1,447	1,626	1,646	4,719	
		伸び率(%)	▲ 8.3	▲ 9.3	▲ 4.2	▲ 7.2	▲ 1.0	22.2	22.2	14.0	16.1	7.7	▲ 0.6	7.1	6.5	2.3	0.3	3.1	3.0	7.8	3.3	4.6	10.6	1.5	▲ 5.8	1.7	
	形 鋼	建設向け 受注量 (千t)	実績(予測)	269	260	313	842	281	333	353	967	333	338	392	1,063	372	355	304	1,031	267	283	(330)	880	(340)	(360)	(340)	1,040
			前年実績値	335	342	350	1,027	284	254	270	808	270	281	372	923	331	270	318	919	269	260	313	842	281	333	353	967
			伸び率(%)	▲ 19.7	▲ 24.0	▲ 10.6	▲ 18.0	▲ 1.1	31.1	30.7	19.7	23.3	20.3	5.4	15.2	12.4	31.5	▲ 4.4	12.2	▲ 0.7	8.8	5.4	4.5	21.0	8.1	▲ 3.7	7.5
	小形棒鋼	建設向け 出荷量 (千t)	実績(予測)	611	566	626	1,803	647	657	608	1,912	604	599	652	1,855	656	600	632	1,888	639	628	(650)	1,917	(710)	(700)	(630)	2,040
			前年実績値	691	638	644	1,973	651	589	528	1,767	519	554	645	1,718	628	627	625	1,880	611	566	626	1,803	647	657	608	1,912
			伸び率(%)	▲ 11.6	▲ 11.3	▲ 2.8	▲ 8.6	▲ 0.6	11.6	15.2	8.2	16.5	8.0	1.1	8.0	4.5	▲ 4.3	1.1	0.4	4.6	10.9	3.8	6.3	9.8	6.5	3.6	6.7
アスファルト	建設向け 販売等量 (千t)	実績(予測)	122	132	136	390	164	184	183	530	103	176	229	508	90	100	121	312	121	116	(160)	398	(155)	(190)	(225)	570	
		前年実績値	154	167	220	541	175	193	233	601	177	220	295	691	112	112	144	368	122	132	136	390	164	184	183	530	
		伸び率(%)	▲ 20.5	▲ 21.1	▲ 38.1	▲ 27.8	▲ 6.4	▲ 4.7	▲ 21.7	▲ 11.8	▲ 41.8	▲ 20.0	▲ 22.4	▲ 26.6	▲ 19.3	▲ 10.6	▲ 15.6	▲ 15.2	▲ 0.9	▲ 11.6	17.4	1.9	▲ 5.5	3.5	23.1	7.5	

注1) 実績値のうち( )のあるものは予測値、イタリック体は速報値である。それ以外の各月の数値は実績値である。

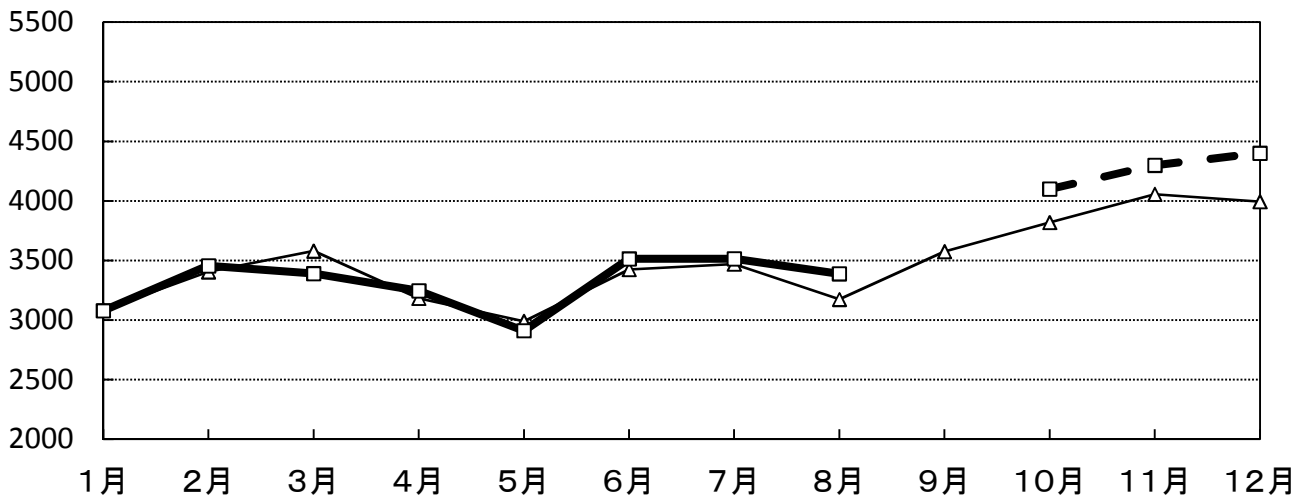
注2) 予測結果における最小の有効単位 … セメント(100千t)、生コンクリート(250千m3)、木材(25千m3)、普通鋼鋼材(50千t)、形鋼(10千t)、小形棒鋼(10千t)、アスファルト(5千t)。

注3) 伸び率(%)は、前年同月実績値に対するもので、▲印は減少を示す。

注4) 平成23年2～6月の木材の需要量は、東日本大震災の影響によりとりまとめが行えない岩手県、宮城県及び福島県分を含まない数値であり、「伸び率」は、上記3県分を除いた( )書きの数値を用いて算出している。

## セメントの需要量推移

(単位:千トン)



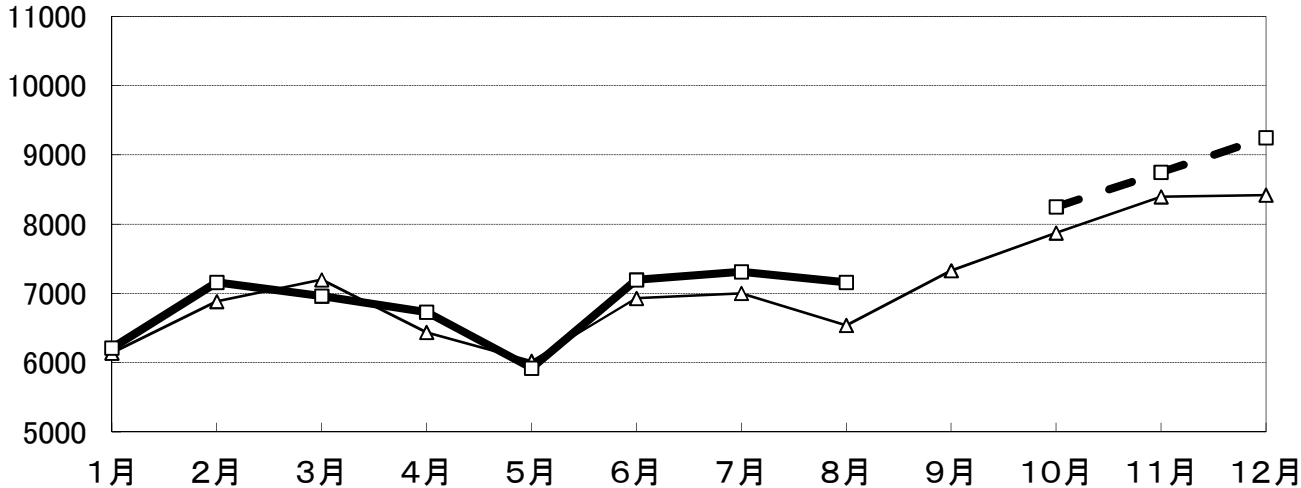
※破線は予測値

(実線部出典: 社団法人 セメント協会)

※グラフの△は平成22年1月～平成22年12月、□は平成23年1月～平成23年12月

## 生コンクリートの需要量推移

(単位:千m3)



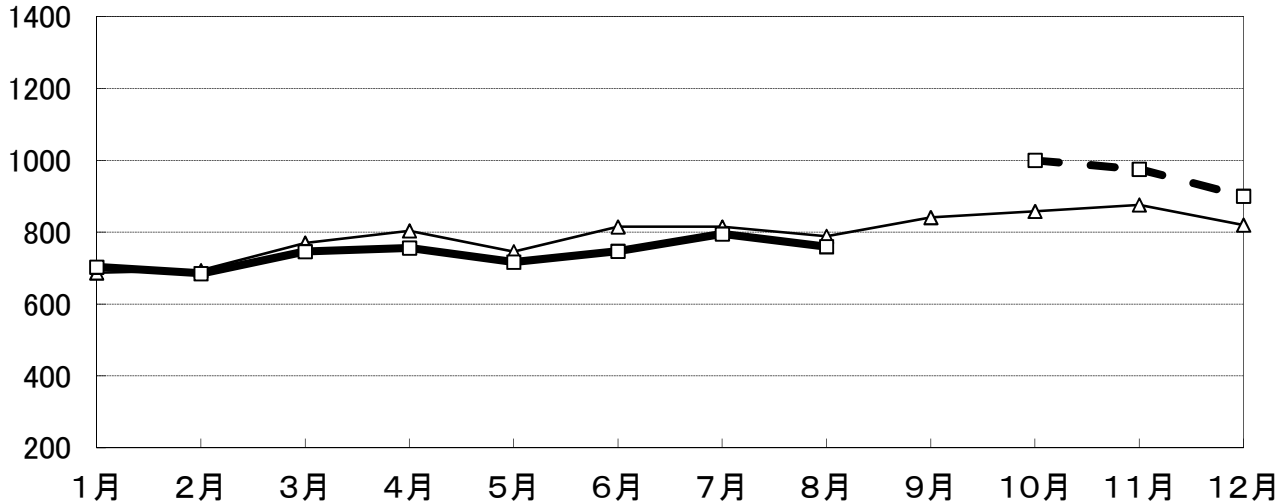
※破線は予測値

(実線部出典: 全国生コンクリート工業組合連合会・協同組合連合会)

※グラフの△は平成22年1月～平成22年12月、□は平成23年1月～平成23年12月

## 木材の需要量推移

(単位:千m3)



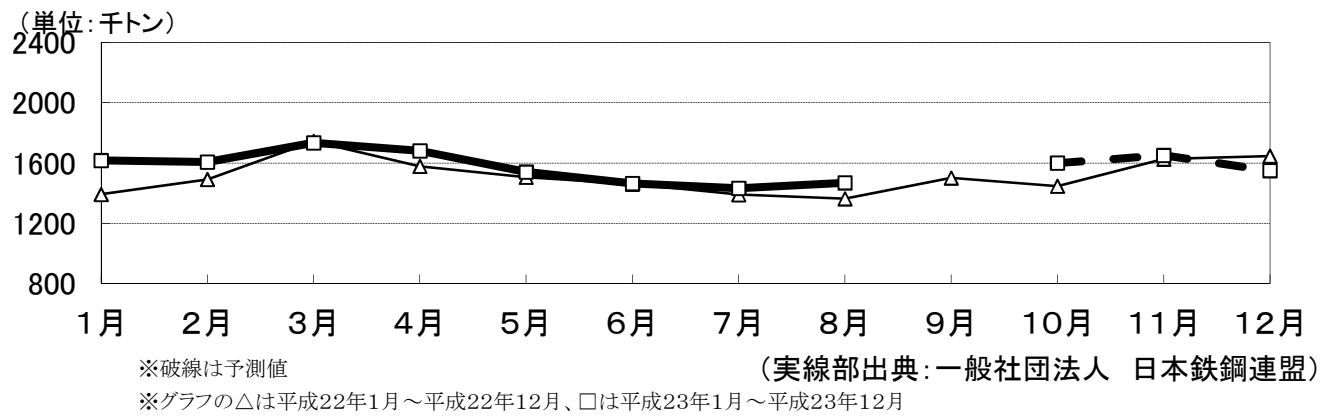
※破線は予測値

(実線部出典: 農林水産省)

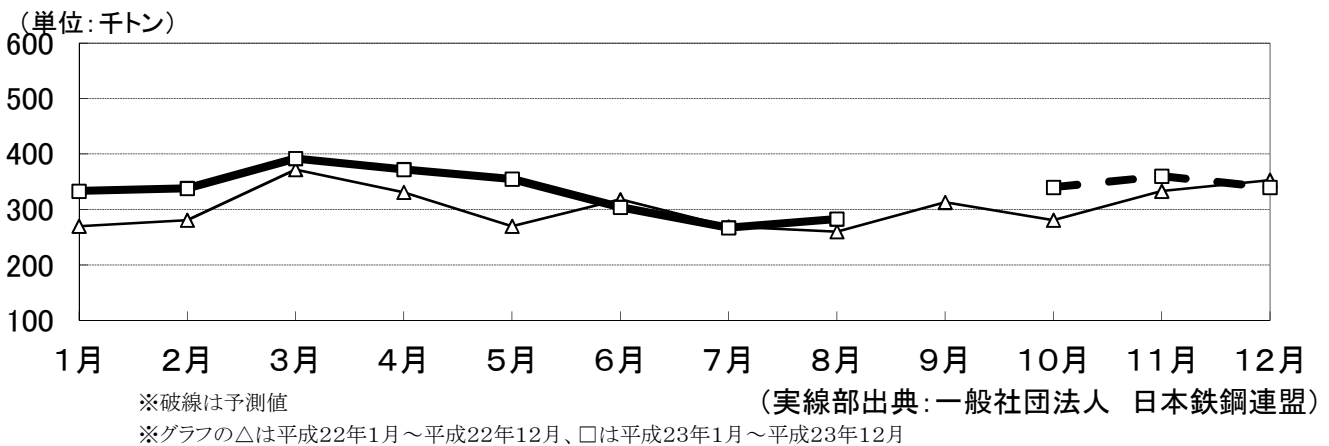
※グラフの△は平成22年1月～平成22年12月、□は平成23年1月～平成23年12月

※平成23年2～6月の木材の需要量は、東日本大震災の影響によりとりまとめが行えない岩手県、宮城県及び福島県分を含まない数値である。

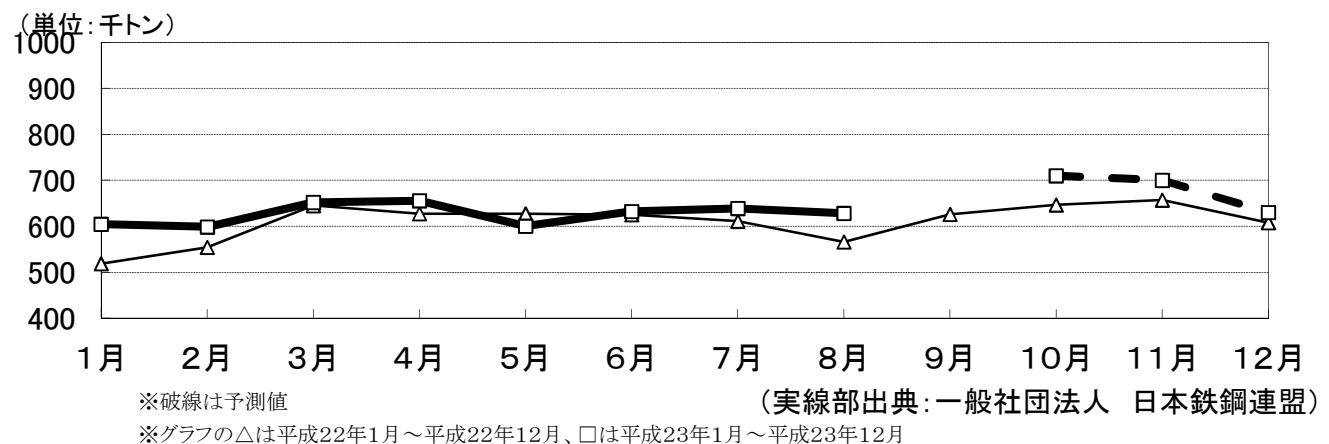
### 普通鋼鋼材の需要量推移



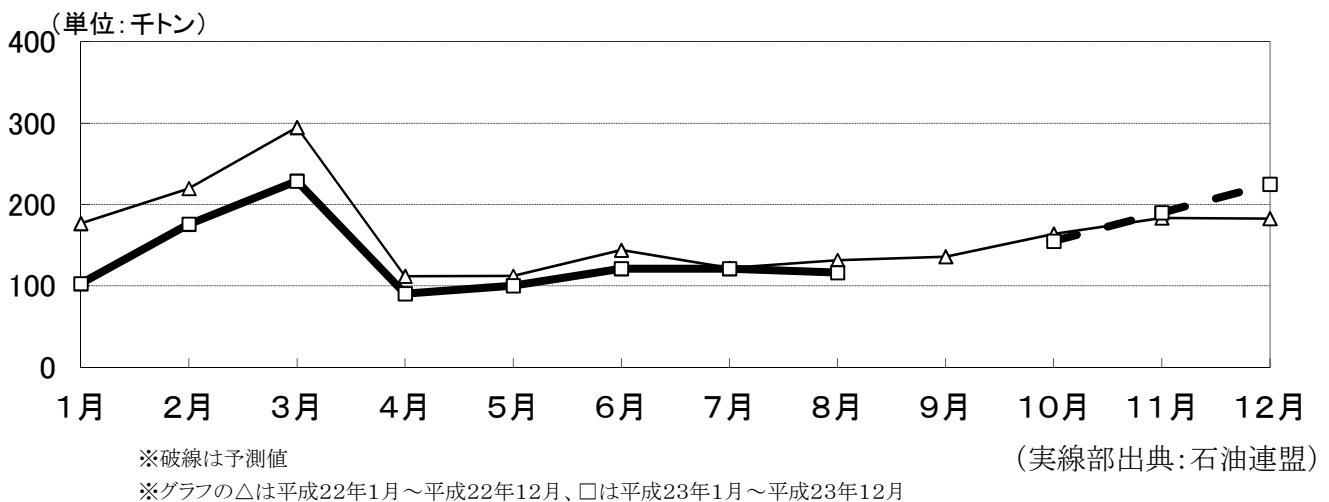
### 形鋼の需要量推移



### 小形棒鋼の需要量推移



### アスファルトの需要量推移



<主要建設資材の国内需要量実績の推移>

参考資料

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課  
平成23年10月31日 現在

		セメント (内 需 量)		生コンクリート (出 荷 量)		木材 (製材品出荷量)		普通鋼鋼材 (建設向け受注量)		形鋼 (建設向け受注量)		小形棒鋼 (建設向け出荷量)		アスファルト (建設向け等内需量)	
		千t	前年比(%)	千m3	前年比(%)	千m3	前年比(%)	千t	前年比(%)	千t	前年比(%)	千t	前年比(%)	千t	前年比(%)
		平成 9年度	76,573	▲ 7.1	167,292	▲ 7.2	21,103	▲ 13.5	28,642	▲ 6.6	7,303	▲ 10.0	11,373	▲ 3.9	4,117
10年度	70,719	▲ 7.6	153,308	▲ 8.4	18,924	▲ 10.3	25,715	▲ 10.2	6,399	▲ 12.4	10,555	▲ 7.2	3,777	▲ 8.3	
11年度	71,515	1.1	151,167	▲ 1.4	18,396	▲ 2.8	26,863	4.5	6,704	4.8	10,724	1.6	3,823	1.2	
12年度	71,435	▲ 0.1	149,483	▲ 1.1	17,282	▲ 6.1	28,024	4.3	6,896	2.9	11,001	2.6	3,804	▲ 0.5	
13年度	67,811	▲ 5.1	139,588	▲ 6.6	15,196	▲ 12.1	26,003	▲ 7.2	6,010	▲ 12.8	10,695	▲ 2.8	3,580	▲ 5.9	
14年度	63,514	▲ 6.3	131,413	▲ 5.9	14,271	▲ 6.1	25,829	▲ 0.7	5,614	▲ 6.6	10,700	0.0	3,343	▲ 6.6	
15年度	59,687	▲ 6.0	123,735	▲ 5.8	14,042	▲ 1.6	25,177	▲ 2.5	5,704	1.6	9,827	▲ 8.2	3,229	▲ 3.4	
16年度	57,569	▲ 3.5	118,982	▲ 3.8	13,446	▲ 4.2	25,066	▲ 0.4	5,623	▲ 1.4	9,725	▲ 1.0	3,014	▲ 6.7	
17年度	59,089	2.6	121,549	2.2	13,161	▲ 2.1	24,703	▲ 1.4	5,659	0.7	10,089	3.7	2,478	▲ 17.8	
18年度	58,985	▲ 0.2	121,903	0.3	12,791	▲ 2.8	25,781	4.4	5,926	4.7	10,991	8.9	2,401	▲ 3.1	
19年度	55,506	▲ 5.9	111,881	▲ 8.2	11,912	▲ 6.9	24,984	▲ 3.1	5,616	▲ 5.2	10,508	▲ 4.4	2,323	▲ 3.2	
20年度	50,087	▲ 9.8	101,009	▲ 9.7	10,809	▲ 9.3	21,240	▲ 15.0	4,738	▲ 15.6	8,722	▲ 17.0	1,882	▲ 19.0	
21年度	42,732	▲ 14.7	86,030	▲ 14.8	9,282	▲ 14.1	17,384	▲ 18.2	3,696	▲ 22.0	7,360	▲ 15.6	2,302	22.3	
22年度	41,614	▲ 2.6	85,278	▲ 0.9	9,498	2.3	18,473	6.3	3,791	2.6	7,450	1.2	1,796	▲ 22.0	
23年度	16,575	2.0	34,315	4.2	3,775	▲ 4.9	7,586	4.0	1,581	9.2	3,155	3.2	550	▲ 11.6	
平成二十二年度	平成22年 4月	3,183	▲ 12.5	6,438	▲ 12.1	804	0.1	1,578	18.6	331	1.5	628	0.0	112	▲ 26.4
	5月	2,991	▲ 5.9	6,021	▲ 5.2	746	▲ 1.7	1,506	14.1	270	▲ 12.3	627	1.7	112	▲ 14.7
	6月	3,425	▲ 4.1	6,929	▲ 3.8	815	0.1	1,460	5.7	318	4.6	625	▲ 4.9	144	▲ 22.2
	7月	3,471	▲ 6.7	7,001	▲ 5.4	815	▲ 0.2	1,390	▲ 8.3	269	▲ 19.7	611	▲ 11.6	122	▲ 20.5
	8月	3,174	▲ 1.6	6,538	▲ 0.4	789	4.9	1,363	▲ 9.3	260	▲ 24.0	566	▲ 11.3	132	▲ 21.1
	9月	3,575	▲ 2.9	7,328	▲ 1.4	841	5.0	1,501	▲ 4.2	313	▲ 10.6	626	▲ 2.8	136	▲ 38.1
	10月	3,819	▲ 2.7	7,873	▲ 0.3	858	4.1	1,447	▲ 1.0	281	▲ 1.1	647	▲ 0.6	164	▲ 6.4
	11月	4,056	8.9	8,395	12.7	876	11.2	1,626	22.2	333	31.1	657	11.6	184	▲ 4.7
	12月	3,994	▲ 0.0	8,420	2.8	820	6.1	1,646	22.2	353	30.7	608	15.2	183	▲ 21.7
	平成23年 1月	3,079	▲ 0.2	6,211	1.2	703	2.3	1,616	16.1	333	23.3	604	16.5	103	▲ 41.8
	2月	3,456	1.5	7,159	4.0	685	6.2	1,606	7.7	338	20.3	599	8.0	176	▲ 20.0
	3月	3,390	▲ 5.3	6,963	▲ 3.3	746	5.1	1,734	▲ 0.6	392	5.4	652	1.1	229	▲ 22.4
平成二十三年度	4月	3,246	2.0	6,729	4.5	756	1.5	1,681	6.5	372	12.4	656	4.5	90	▲ 19.3
	5月	2,912	▲ 2.6	5,921	▲ 1.7	717	4.2	1,540	2.3	355	31.5	600	▲ 4.3	100	▲ 10.6
	6月	3,513	2.6	7,195	3.8	747	▲ 0.8	1,464	0.3	304	▲ 4.4	632	1.1	121	▲ 15.6
	7月	3,514	1.2	7,312	4.4	795	▲ 2.5	1,432	3.0	267	▲ 0.7	639	4.6	121	▲ 0.9
	8月	3,389	6.8	7,159	9.5	760	▲ 3.7	1,469	7.8	283	8.8	628	10.9	116	▲ 11.6
	9月														
	10月														
	11月														
12月															
平成24年	1月														
	2月														
	3月														

(注1) 各資材の需要量は四捨五入して算出しているため、各月の合計と年度計とは一致しない。

(注2) 前年比欄の▲はマイナス。

(注3) イタリック体は速報値。

(注4) 平成23年2～6月の木材の需要量は、東日本大震災の影響によりとりまとめが行えない岩手県、宮城県及び福島県分を含まない数値であり、「前年度比」は、上記3県分を除いた数値を用いて算出している。

《 出 所 》 ・セメント…(社)セメント協会(月別セメント販売実績)

・生コンクリート…全国生コンクリート工業組合連合会・協同組合連合会  
(全国生コンクリート出荷実績(月次))

・木材…農林水産省(製材統計)

・普通鋼鋼材、形鋼、小形棒鋼…(一社)日本鉄鋼連盟(鉄鋼統計月報)

・アスファルト…石油連盟(石油アスファルト統計月報)